

兵たちの争乱

「市報ぎょうだ」1月号で触れたように、没落農民の多発、対蝦夷戦争による重圧、度重なる災害が、政治・社会の混乱を招き、治安が悪化して関東地方の律令体制は崩壊していきます。

そうした状況に拍車を掛けたのが、朝廷から国司などとして派遣され、その権力で私財を蓄え、退任後も現地にとどまって勢力を伸ばした土豪たちの横暴でした。彼らは後任の国司や在地の郡司と対立し、やがて武力に訴えて地方政治を混乱させました。

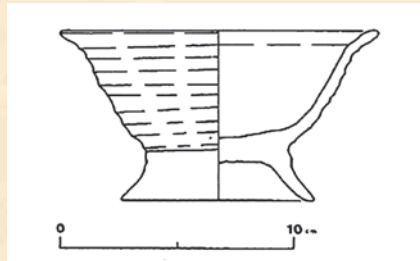
市域周辺でも延喜19年(919)に、現在の北鴻巣駅付近に土着した武蔵前権介源任が、国衙から官物を運び取り、官舎を焼き払って、国府を襲い、武蔵守高向利春を攻撃しようとした事件を起こしています。

承平5年(935)〜天慶3年(940)には平将門の乱が起こり、度重なる戦で田畑は焼かれて荒廃し、人々は土地を捨てて離散していきました。治安の悪化に対して朝廷は、武力による律令体制の維持を図りますが、平将門の乱以降も、兵と呼ばれた武装した土豪た

ちの争いは絶えませんでした。市域周辺でも、源任の子の源充と、熊谷市村岡を居地としていた平将門の叔父の平良文が合戦したことが、『今昔物語』に記されています。

こうした兵たちが、やがて武士へと成長し、律令体制崩壊後の地域を支配していきます。も大きな変化が現れます。

最初の大きな変化は、土器(食器など)の変化で、10世紀中ごろを最後に、古墳時代から使われていた土師器と須恵器が作られなくなり、代わって両者の中間的なろくろ成形で素焼きの土師質土器が、10世紀後半以降使われるようになります。律令体制の崩壊で、官営の須恵器窯の操業と製品の流通がままならなくなつたためと考えられます。



酒巻出土の土師質土器(実測図)

次の大きな変化は住居の変化で、10世紀末を最後に、縄文時代から続いていた竪穴式住居が建てられなくなり、一般庶民の住居も掘立柱建物主流となります。

古代の律令体制から、中世の武家社会へと、時代は徐々に動き始めたのです。

(文化財保護課 中島洋一)

こせに ちゃんが 行く! with フラベス 福祉施設編

ぎょうだえん 行田園 (運営:社会福祉法人 聖徳会)

行田園は、平成5年12月にオープンした知的障がいの方の食事や入浴などの生活支援を行っている施設だよ。

日中は、個々の能力に合わせて、絵画や手芸、牛乳パックを原料にしたはがき作りに励んでいるんだ。自分のペースで、みんなのびのびと活動をしているよ。また、市内2カ所しかない短期入所サービスも提供しているんだって。

さらに、平成27年4月から施設の一角を使って、小学生から高校生を対象にした放課後等デイサービス「行田園ポコ・ア・ポコ」も始まったんだ。「これからもご利用者に寄り添った支援をしていきたい」って職員の皆さんは話していたよ。

【住所】荒木1199 【電話番号】557-3283



このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

今月の表紙

1月9日、中央公民館(「みらい」内)で毎年恒例となっている行田市少年少女将棋大会が行われました。今回で30回目を迎える記念すべき大会に、市内の小・中学生81人が参加。個人戦、団体戦それぞれにエントリーした選手たちは、決勝トーナメントそしてその先の優勝を目指して、対戦相手の一手二手先を読みながら勝負に挑んでいました。また、対局後お互いの攻め方などを検証し合うなど、将棋を通して交流を深めることができたようです。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジェスト版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています